

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 児童発達支援 ナチュレなごみ (小数点は四捨五入)

記載責任者: 伊藤あや

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	85%	15%	0%	時間をずらす、他の部屋を使う等、子どもの特性に応じた組み合わせを考えてスペースを確保している
	2 職員の配置数は適切であるか	80%	20%	0%	支援する人員は適切で、個別対応ができています
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	65%	35%	0%	スケジュールや絵カード等を用いた情報伝達を、子どもの特性に合わせて環境設定している。バリアフリー化では、入口が階段であるため必要時にはスロープを用意する必要がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	14%	0%	感染予防の為に、空気清浄機を設置し、備品・教材等の消毒や清掃を行っている。換気にも気をつけ活動に合わせてスペースを広くとれるように工夫している
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	86%	14%	0%	全職員が参画努力をして支援会議や日々の振り返りを行っている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	12%	0%	保護者様にご協力いただいたアンケート調査の結果を全職員で確認し、更なる業務改善につなげている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページで公開しています
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	68%	32%	0%	外部評価は受けていないが、同法人内の他施設から評価・助言を得ている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	68%	32%	0%	研修の機会は設けられており、感染症の配慮を考えながら必要と思われる研修には参加する努力をしている
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	90%	10%	0%	契約時には特に丁寧にアセスメントを行い、定期的に保護者と面談を行い子どもと保護者のニーズを考慮した個別支援計画を作成している
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	77%	23%	0%	子どもの発達を考慮したアセスメントツールを参考、作成し使用している
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	71%	29%	0%	ガイドラインに沿った形で、それぞれの子ども状況・状態に合わせて支援内容を選択し、保護者や子どものニーズに合わせて設定している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	86%	14%	0%	支援計画をもとに支援を行っている。職員間の情報共有を密にして、よりよい支援に努めたい
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や担当者で話し合い、活動プログラムを決定している
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	子どもの状況や季節感を取り入れ、固定化しないよう工夫している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	主に個別や小集団での活動を中心としているが、機会を設けて交流活動も実施したい
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86%	14%	0%	朝礼で活動内容・当日の動き・場所、役割分担などを確認している
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	86%	14%	0%	その日の内に振り返りを行い、次の支援に活かすようにしている。振り返り時に不在の職員には日誌や翌朝のミーティングで伝達・共有している
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	毎日記録をとり、継続した支援につなげている
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	71%	29%	0%	定期的に保護者と面談を行い、支援内容について適宜見直しをしているが、緊急以外の保護者とのモニタリングは新型コロナウイルス対応の為、時間短縮や電話での対応となった	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 児童発達支援 ナチュレなごみ (小数点は四捨五入)

記載責任者: 伊藤あや

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%	14%	0%	相談支援事業所からの来所・電話での聞き取りやモニタリングには児童発達支援管理責任者が対応している
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	86%	14%	0%	随時連携した支援を行っています
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/	(対象児不在)
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/	(対象児不在)
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	86%	14%	0%	お迎え時に、情報共有や相互理解を図っている
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	86%	14%	0%	支援会議にはできるだけ参加している
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	72%	0%	18%	市の療育センター・他の事業所に助言を得ている。研修等あれば参加を心掛けている。(桑名市療育センター(らいむの丘)を見学)
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	29%	43%	障がいのない子どもとの交流活動はないが、お迎え時に短時間の会話や接する事がある
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	43%	29%	29%	できるだけ参加するよう心がけている
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	インターネット使用で利用できる「HUG」を活用し、その日の支援内容を写真を添付し伝えている。保護者からのコメントも頂きながら共通理解に努めている。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	29%	57%	14%	送迎時に保護者と話をすることを心がけているが、具体的な支援はできていない	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	86%	14%	0%	契約時に、重要事項説明書をもとに説明を行っている
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	86%	14%	0%	ガイドラインに基づいて作成した児童発達支援計画書を保護者に説明し、同意を得ている
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	86%	14%	0%	保護者からの相談には随時対応している。内容によっては、職員間で検討して助言や支援を行っている
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	30%	10%	60%	現時点では、立ち上げに至っていない
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	12%	0%	相談や申し入れには可能な限り対応している。苦情に対する体制を整え、重要事項説明書に明記し周知している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	毎月1回の通信を発行している
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	90%	10%	0%	個人情報の守秘義務・取り扱い規程を作成し、徹底を図っている

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 児童発達支援 ナチュレなごみ (小数点は四捨五入)

記載責任者: 伊藤あや

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	送迎時に担当者が子どもの状況等を聞きとり、また保護者に今日の様子を伝えている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10%	10%	80%	現時点では、行事を行っていません
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	82%	18%	0%	年度初めに実情にあったものにマニュアルを編集し直し、職員に周知するとともに、毎年、改訂版を保護者の方に配布している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	82%	18%	0%	年2回の年間計画で地震・火災を想定して実施している。子ども達にも分かりやすい内容で伝えられるよう工夫している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	71%	14%	14%	面談時のアセスメントで確認するとともに、日々の送迎時に保護者から必要な情報を聞き取っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/	(対象児不在)
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90%	10%	0%	日々の振り返りで報告し合い情報共有して検討し、改善につなげている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88%	12%	0%	定期的に事例等で勉強会を実施し、虐待防止への意識を高めている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	78%	12%	0%	定期的に事例等で勉強会を実施し、身体拘束の意味・必要性について確認する機会を設けている